

2022年7月～2023年9月  
近畿中小企業景況感動向(第173回)

株式会社コスモ不動産情報  
西大阪研究所

産業	製造業
	非製造業
	建設業
	小売業
	サービス業

景況感指標		%
上昇	黄色好転	+3～
普通	普通:白色	-2～+2
下降	青色悪化	-3～

本店(西大阪研究所)				1年更新	2022年		2023年		
No.	コード	産業	業種分類	企業件数	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月
1	HHSB01	サービス業	飲食	36,008					
2	HHSB02	製造業	繊維	7,710					
3	HHSB03	製造業	木材	3,607					
4	HHSB04	製造業	木製品	2,835					
5	HHSB05	製造業	家具・寝具	3,907					
6	HHSB06	製造業	建具	1,931					
7	HHSB07	製造業	パルプ	1,148					
8	HHSB08	製造業	紙	5,970					
9	HHSB09	製造業	紙製品	3,481					
10	HHSB10	サービス業	印刷・写真	8,749					
11	HHSB11	サービス業	製本業	775					
12	HHSB12	製造業	化学工業	9,819					
13	HHSB13	製造業	石油・燃料	2,225					
14	HHSB14	製造業	プラスチック	7,816					
15	HHSB15	製造業	ゴム製品	3,250					
16	HHSB16	製造業	皮革	1,232					
17	HHSB17	製造業	毛皮	1,954					
18	HHSB18	製造業	窯業	2,584					
19	HHSB19	製造業	鉄鋼	9,756					
20	HHSB20	製造業	非鉄金属	3,064					
21	HHSB21	製造業	金属	23,263					
22	HHSB22	製造業	機械	32,311					
23	HHSB23	製造業	電気	20,723					
24	HHSB24	サービス業	輸送	2,288					
25	HHSB25	製造業	精密	3,833					
26	HHSB26	製造業	貴金属	2,326					
27	HHSB27	製造業	日用雑貨	12,787					
28	HHSB28	製造業	衣料	16,908					
29	HHSB29	製造業	アクセサリ	4,316					
30	HHSB30	製造業	日用品	3,444					
31	HHSB31	製造業	自動車・バイク	15,081					
32	HHSB32	建設業	インテリア	7,285					
33	HHSB33	建設業	建築	53,440					
34	HHSB34	建設業	採石・石材	530					
35	HHSB35	建設業	建設	18,423					
36	HHSB36	サービス業	ガス	1,613					
37	HHSB37	サービス業	水道	4,038					
38	HHUN	サービス業	運送	21,569					
39	HHSB38	サービス業	陸運	10,283					
40	HHSB39	サービス業	航空	1,694					
41	HHSB40	サービス業	水運	2,121					
42	HHSB41	サービス業	運輸・運送	30,333					
43	HHSB42	サービス業	銀行	2,813					
44	HHSB43	サービス業	証券	412					
45	HHSB44	非製造業	農業	2,183					
46	HHSB45	非製造業	畜産	908					
47	HHSB46	非製造業	林業	70					
48	HHSB47	非製造業	水産	1,357					
49	HHSB48	サービス業	医療	31,568					
50	HHSB49	サービス業	保健・薬局	2,811					

2022年7月～2023年9月  
近畿中小企業景況感動向(第173回)

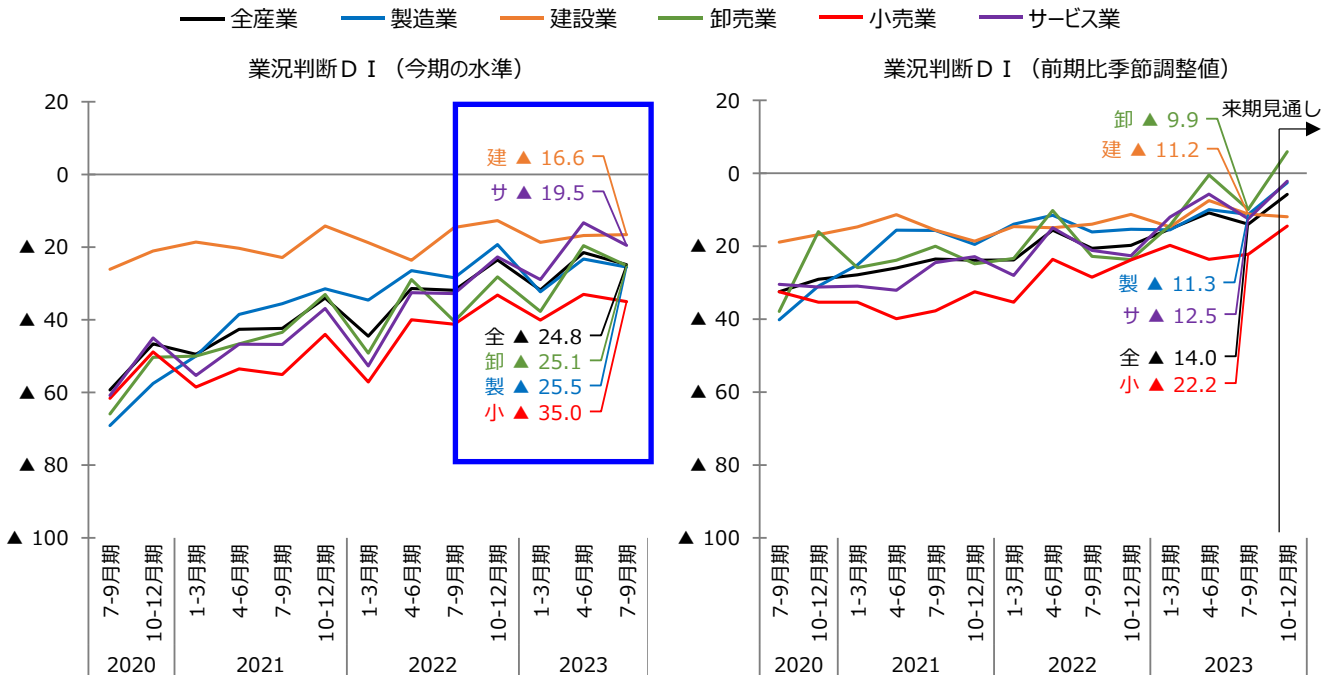
株式会社コスモ不動産情報  
西大阪研究所

本店(西大阪研究所)				1年更新	2022年		2023年		
No.	コード	産業	業種分類	企業件数	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月
51	HHSB50	サービス業	保険	4,959					
52	HHSB51	サービス業	福祉	12,035					
53	HHSB52	サービス業	介護	10,353					
54	HHSB53	製造業	織物	2,467					
55	HHSB54	サービス業	宿泊・旅行	3,079					
56	HHSB55	サービス業	倉庫	2,872					
57	HHSB56	サービス業	学校・塾	4,301					
58	HHSB57	非製造業	産業廃棄物	7,066					
59	HHSB58	非製造業	リサイクル	4,101					
60	HHSB59	非製造業	花	3,013					
61	HHSB60	小売業	スーパーマーケット	2,577					
62	HHSB61	サービス業	娯楽	1,839					
63	HHSB62	非製造業	塗装	6,056					
64	HHSB63	製造業	自転車	3,464					
65	HHSB64	サービス業	警備・管理	3,705					
66	HHSB65	小売業	自動販売機	307					
67	HHSB66	製造業	建機	1,458					
68	HHSB67	製造業	硝子	2,349					
69	HHSB68	サービス業	スポーツ	2,783					
70	HHSB69	サービス業	宗教	5,607					
71	HHSB70	サービス業	専門サービス業	10,426					
72	HHSB71	製造業	薬品会社	2,266					
73	HHSB72	サービス業	冠婚葬祭	1,323					
74	HHSB73	サービス業	派遣業	1,895					
75	HHSB74	サービス業	理美容・エステ	1,159					
76	HHSB75	サービス業	医療法人本部	677					
77	HHSB76	サービス業	弁護士	1,553					
78	HHSB77	サービス業	情報・システム	3,354					
79	HHSB78	サービス業	映像・広告	1,758					
80	HHSB99	その他		18,036					
			合計(延べ)	575,390					

# 第173回 中小企業景況調査（2023年7-9月期） 近畿

## 1. 業況感

近畿地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2023年4-6月期）より3.3ポイント減の▲24.8と2期ぶりに低下した。産業別にみると、建設業で上昇し、サービス業、卸売業、製造業、小売業で低下した。

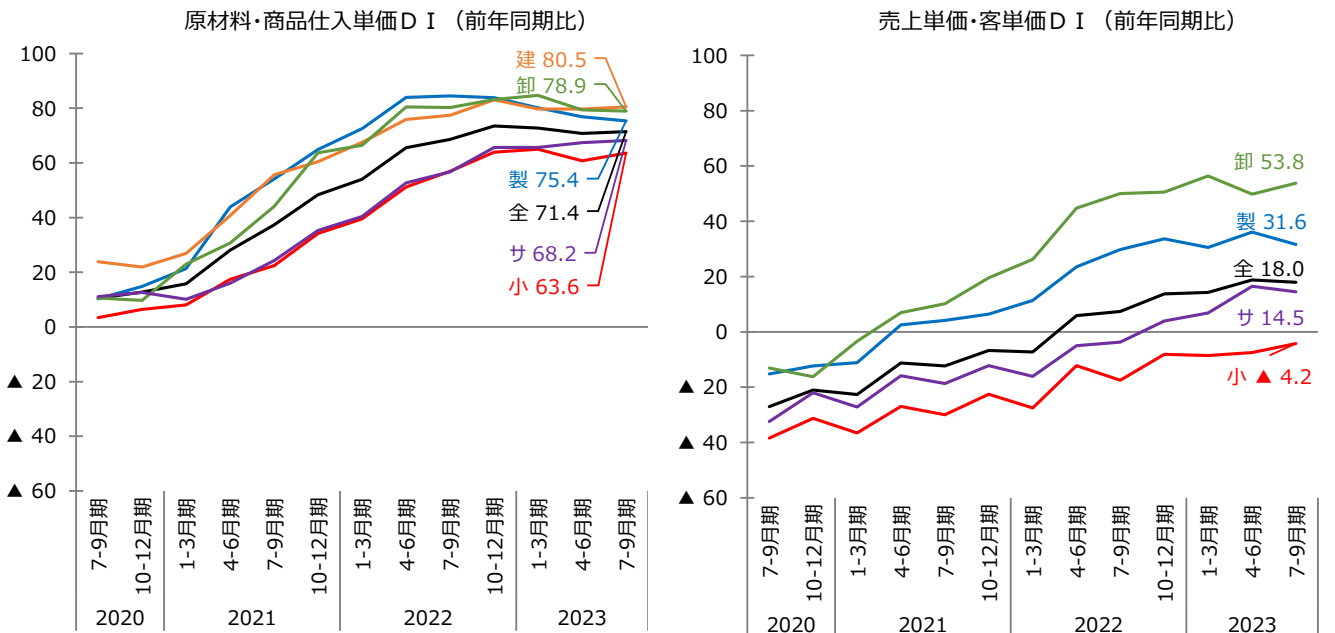


※今期の業況について「良い」「ふつう」「悪い」で質問

※前期（2023年4-6月期）と比べて、「好転」「不変」「悪化」で質問

## 2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より0.6ポイント増の71.4と3期ぶりに上昇した。産業別にみると、小売業、建設業、サービス業で上昇し、製造業、卸売業で低下した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より0.8ポイント減の18.0と6期ぶりに低下。産業別にみると、卸売業、小売業で上昇し、製造業、サービス業で低下した。



※前年同期（2022年7-9月期）と比べて「上昇」「不変」「低下」で質問

※前年同期（2022年7-9月期）と比べて「上昇」「不変」「低下」で質問

<調査概要> 調査時点は2023年9月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

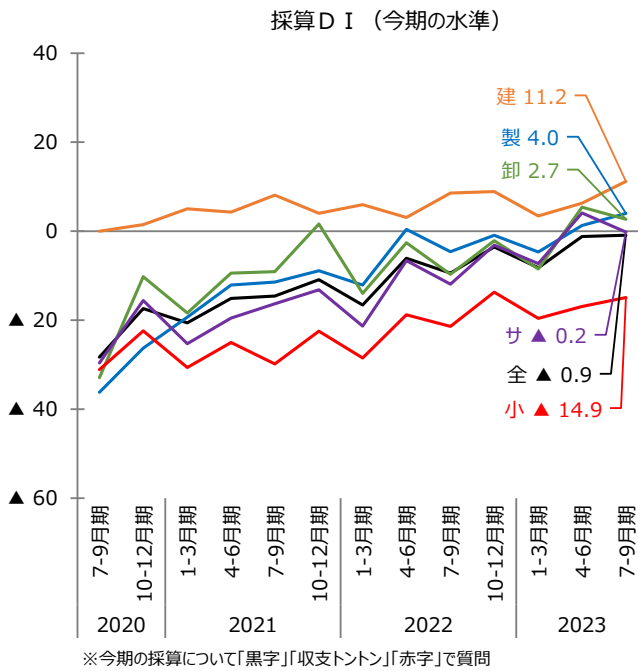
今期の調査対象企業数：18,830 有効回答企業数：18,017 有効回答率：95.7% うち、近畿：2,525企業

※本資料の集計対象の都道府県は、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県です。

# 第173回 中小企業景況調査（2023年7-9月期） 近畿

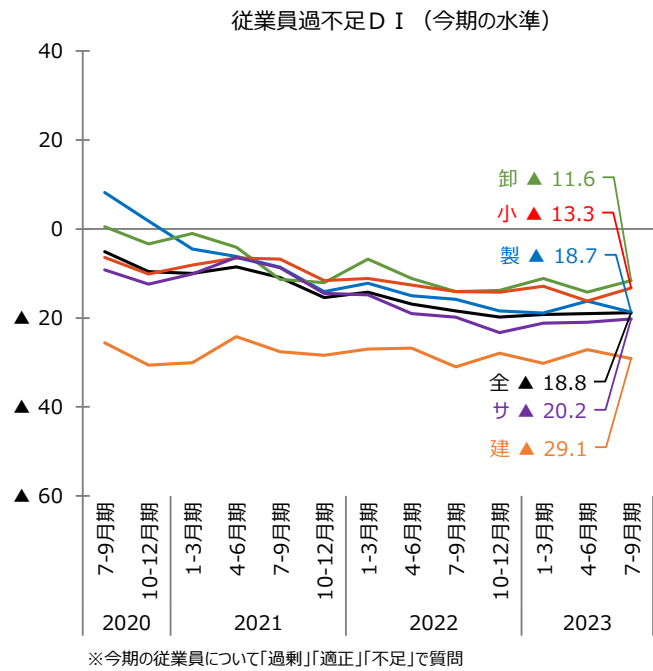
## 3. 採算

採算DIは、全産業で前期より0.3ポイント増の▲0.9と2期連続して上昇した。産業別にみると建設業、製造業、小売業で上昇し、サービス業、卸売業で低下した。



## 4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より0.2ポイント増の▲18.8と3期連続で上昇した。産業別にみると、小売業、卸売業、サービス業で上昇し、製造業、建設業で低下した。



## 4. 近畿の中小企業の声

	業況判断の背景	業種
現状	熟練技術者の確保のために、外国人技能実習生の採用を中止し、日本人メインの採用に戻した。従業員は増えたので、個人のスキルアップが課題となっている。	製造業 <small>その他の工業用プラスチック製品製造業(加工業を除く)</small>
	資材価格の上昇による、住宅価格の上昇により、受注やお客様の動きが悪いように感じる。	建設業 <small>大工工事業(型枠大工工事業を除く)</small>
	仕入単価の上昇、その他コストアップに対して、販売単価を十分上げられていない。販売先は販売価格に対し、非常にシビアで、値上げに、非常に時間がかかっている。	卸売業 <small>その他の身の回り品卸売業</small>
	気温が高く、好天が続いたため、水物等が好調で、売上上昇になっています。人件費、電気料の上昇で、利益的には、厳しい状況です。	小売業 <small>コンビニエンスストア(飲食品を中心とするものに限る)</small>
	仕事量は戻りつつあるが、運送業には一番ダメージの大きい燃料高騰が続いている。仕事に見合った運賃の交渉が、いつになっても成立しないことが、黒字に繋がらない原因である。	サービス業 <small>一般貨物自動車運送業(特別積合せ貨物運送業を除く)</small>
見通し	昨年から、原材料の上昇に伴う販売価格の値上げも実施しておりますが、今後、更なる価格の上昇難も、感じております。顧客離れが起きると、売上低下という結果になるため、今後の売上不振に、不安もあります。	製造業 <small>豆腐・油揚げ製造業</small>
	材料単価、仕入単価の上昇が止まらず、施工単価が上昇しているため、新築の需要に停滞が見られる。インボイス制度の導入もあり、下請単価の上昇も見込まれるため、先行きが不透明となっている。	建設業 <small>一般土木建築工事業</small>
	円安の状況がいつまで続くのか、為替の影響が深刻。今以上に、コストが上がれば、転嫁するにも限度があり、業績に大きく影響する。	卸売業 <small>その他の身の回り品卸売業</small>
	建設関連は、依然、仕事が少ないように感じる。値上げは落ち着いてきたと思われるが、為替、輸送コスト高の影響を受け、値上げするメーカーが、9月からまた増えてくる傾向になりそうです。	小売業 <small>建築材料小売業</small>
	今期、来期ともに、好転はしますが、あくまでこれまでの非常に厳しい状況からの好転です。今後、最低賃金の上昇に伴い、人件費の上昇も避けられないことから、更なる好転を目指す必要がある。	サービス業 <small>学習塾</small>

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)

項目を選択する方式ではなく、業況判断の背景についての感想や意見を自由に記入する方式であることから、各企業が抱える課題が表れている。